

## 第22回 向日市上下水道事業懇談会 議事録

日 時 : 平成25年2月28日(木) 午前10時から午後0時30分まで  
場 所 : 向日市役所 大会議室  
出席者 :  
(委員) 吉川会長他8名  
(事務局) 田村上下水道部長他12名  
傍 聴 : なし

### 1 あいさつ

### 2 議事

#### 【平成23年度水道事業会計決算報告】

委員 給水人口が、22年度に比べて400人近く減っている。開発行為が結構あるのに、給水人口が減っている要因は何か。

事務局 転出などによるものです。しかし、今後キンピール跡地の開発が進むと、人口が増加すると予測しています。また、節水機器の普及と節水意識の向上により、一日1人平均給水量が減っています。今後も下がると予測をしており、給水量の減少による収益減は大きな問題です。

委員 水道料金の収益を考えると問題であるが、全体の流れとしては節水型にならざるを得ないし、望ましい方向だと思う。水道事業としては、そういう背景を踏まえて、どうやって収益を増やしていくか考えていかななくてはいけない。

委員 下水道使用料徴収事務負担金の根拠は。

事務局 水道料金と下水道使用料をまとめて徴収していることから、検針、収納業務の委託料、システムの賃借料、人件費等の経費の約2分の1を下水道会計から負担しています。

委員 配水管布設費のうち、更新計画に基づくものと漏水などの予測外のものとの比率はわかるか。

事務局 配水管布設費では、計画的に更新したものを支出しています。この他、漏水等の修繕費用として7200万円支出しました。漏水調査をして、できるだけ早く解消できるように努めています。

委員 水道の起債について、向日市は人口規模、財政規模からみて、どれくらいの

位置にあるのか。

事務局 平成23年度末の起債残高は23億6000万円で、人口一人あたりの償還額は京都府下では少ない方です。

委員 起債の償還は平成53年度まで続くが、どのような努力をするのか。

事務局 アセットマネジメントによる施設更新を進めていきますが、起債は今後増えると見込んでおり、より一層の企業努力が必要になってきます。職員数は、10年前の36名から現在18名に減らしており、緊急事態に対応するには、これ以上は減らすことはできません。

委員 中央道のトンネル事故があったので、今後は危機管理や維持管理に向けられる。起債については、借り換え等の有利なものを検討していただきたい。

#### 【平成23年度下水道事業会計決算報告】

委員 水洗便所改造資金融資制度を実際に活用された方はあるのか。

事務局 これまで10件程度の利用がありました。未水洗の世帯があることから、制度は残しています。

委員 不納欠損の理由で、無断転出者をあげていたが、どのような措置を取っているのか。

事務局 滞納されている方に催告書を送付し、それでも連絡がない場合は、停水を行っています。滞納したまま無断で転出された場合、回収が困難になり最終的には不納欠損で処理をしています。

委員 滞納者の口座を調べて、その口座から滞納分をひくと聞いたことがある。

事務局 税は可能ですが、水道料金は民法上の契約で、差押えの処分はできないものと考えています。

委員 水需要が落ち込むのは止まらない。収入を上げるより、いかに費用面で効率化を図るかである。独自のシステムを開発してネットワークを組めば節約できるのでは。システムにはいくら支払っているのか。

事務局 上下水道料金システムは5年リースで、年間約1000万円、システム及び機械の保守が約500万円です。

委員 収入が減り、維持更新に費用がかかると聞き、将来が厳しい。

事務局 物件費は節減する努力が必要だと思っています。耐震化と更新に多額の費用がかかりますので、職員一丸となって努力いたします。

委員 汚水処理の経費はどこに入っているのか。  
事務局 桂川右岸流域下水道維持管理負担金です。京都府へ1 tあたり42円支払っています。

#### 【水道施設の耐震診断経過報告】

委員 耐震診断は外部委託か。  
事務局 複雑な構造計算がありますので、専門のコンサルタントに委託しました。上植野浄水場の配水塔はレベル2に対し、十分な耐震性を有していました。また、水道管路では、洛西ニュータウンの事故は、耐用年数40年に満たない水道管でした。今年度、市内58か所で水道管の劣化診断調査を実施しました。今後は診断の結果を踏まえ、更新計画を立てる予定です。

委員 耐震診断結果を専門家に評価してもらうのか。  
事務局 今年度中に耐震診断結果を取りまとめ、来年度に計画を立てる予定です。評価については、専門家にもお願いしたいと考えています。

委員 国土強靱化でプロジェクトが作られるようだが、国の補助金はないか。  
事務局 できる限り国庫補助を活用いたします。

委員 今後のスケジュールはどうか。  
事務局 耐震診断結果等に基づき、施設の耐震化や更新について、アセットマネジメントを考慮した計画案を作成してご意見をお伺いする予定です。

#### 【京都府営水道ビジョンの概要報告】

委員 府ビジョンはいつ策定されるのか。  
事務局 3月に策定される予定です。

委員 今後の投資分や既存投資分が載っているが、平成27年度に（段階的な平準化が）実行できる見通しで出されているのか。  
事務局 乙訓系、木津系の6首長で京都府へ要望に行きましたが、ビジョンの中で平準化をするとあり、現実性を持った案です。

#### 【「いろは呑龍トンネル」南幹線の動向と本市浸水対策について】

委員 東向日駅交差点付近で新しい水路が上からきて、既存の石田川で合流しているが、それから下の接続はどうなっているか。  
事務局 既存の石田川が南下していて、府道向日町停車場線の下に石田川1号幹線があり、雨水が増えますと一時的に石田川1号幹線の貯留管に溜めて、浸水被害

を軽減する措置を取っています。

委員 合流した先は、現在の能力よりも向上するのか。  
事務局 向上しますが、すぐに石田川の貯留管渠に入ることになります。

委員 スケジュールはどのようになっているか。  
事務局 今年度中に大まかな路線を確定し、来年度にガス管などの移設をしていただきます。延長が240mあり、また安全性を図るため夜間工事となりますので、26年度から約3か年でバイパス水路築造工事をする予定です。

委員 石田川が寺戸公民館付近で二つに分かれている。寺戸公民館の西側で開発行為が行われているが、貯留施設になるのか浸透施設になるのか。  
事務局 現在協議中です。

委員 既存の石田川は都市化の波でふたをしたが、昔、この辺りのいい川だったのではないか。水辺がなくなっているのので、河川事業と協力して昔の石田川をカムバックさせてはどうか。

事務局 親しむ水、親水は向日市にはありません。石田川で水辺環境を作ろうとすると、道路の両側に銀行やイオンなどがあり用地買収は難しい。しかし、水辺環境を整備するのも大事な施策であると考えています。